

●梅雨があけて、公園の夏が始まります。

●つるつるした樹皮のサルスベリが咲き始めます！

●サルスベリは百日紅（ひゃくじつこう）という別名のとおり、7月頃から10月くらいまで花を咲かせています。開花した花それぞれは一日で終わってしまう一日花ですが、次々につぼみが開花するので約100日のあいだ花を楽しむことができます。



サルスベリ

サルスベリの樹皮について

サルスベリの樹皮は、古くなると剥がれ落ち、幹は常にツルツルの状態を保っています。名前にもある通り、おサルさんが手足を滑らせてしてしまいそうなくらいツルツルです。また、樹皮が人の肌に似ていることから、人の生気を吸って生きているとの言い伝えもあるそうですよ。なんだか怖いですね



●公園を彩る、7月に咲く花々



ミソハギ



ノウゼンカズラ



ヤブミョウガ



カワラナデシコ



ハンゲショウ



オニユリ

●ハスの果托（かたく）の変化

●ハスの果托は花びらが落ちてから、時間と共に変化していきます。中の種が成長するとともに果托も大きくなり、種を落とすために穴が空きます。やがて果托がうなだれてくると、中の種が風や重力で自然にポトリと水に落ちるのです。



花びらや雄しべがなくなり、つるりとした果托が残ります。



雌しべがあった根元に穴が開き、中の種子が見えてきます。



果托が乾燥し、種が落ちる準備ができました。



大賀ハス

ハスの果托はハチの巣みたい？

・子どもたちが、蓮の果托をみて、「ハチの巣みたい！」とびっくりしている光景をよく目にします。ハスの別名「ハチス」とは、その名の通り、果托がハチの巣のようだというところからその名がつけられたのだそうです。（諸説あります。）



ハスの果托

管理事務所に
好評販売中！！

●こまめに水分補給をしながら、日陰などを利用して、熱中症に気を付けて公園散策を楽しんでください。

【発行】（一財）古河市地域振興公社 古河公方公園（古河総合公園） 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣 399-1 電話 0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索